

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	フォルツァ・エスエス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：FORZA SS

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤 番

比較対照ボール：FORZA GT

フレアーの幅 インチ

表面加工

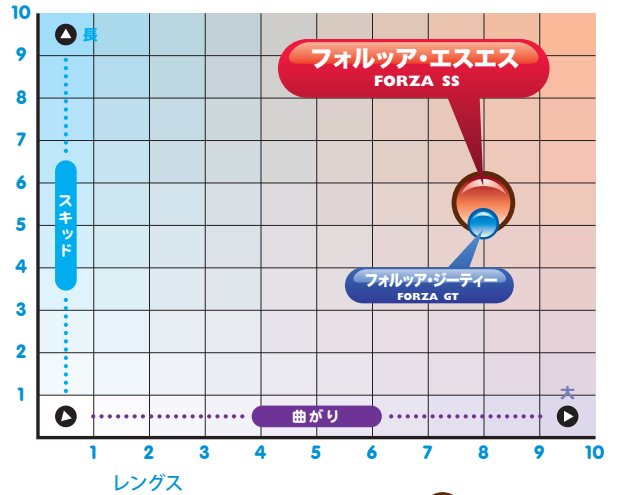
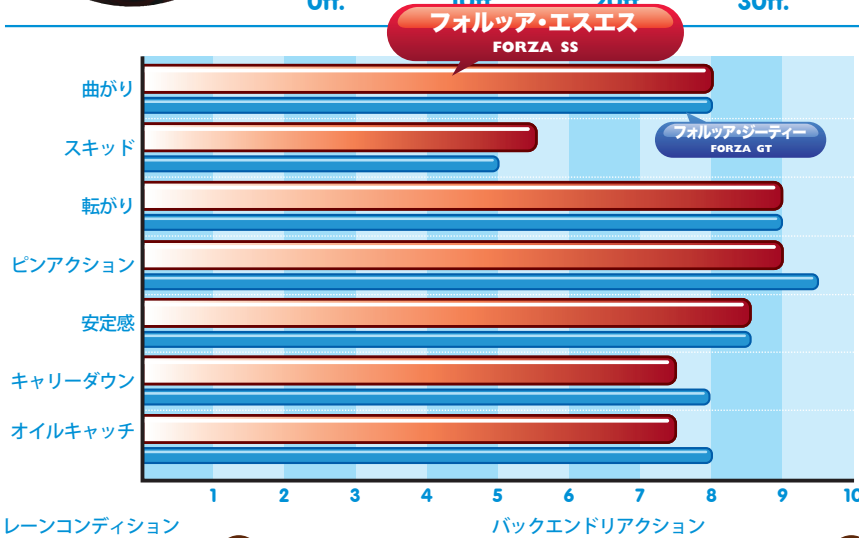
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

研磨剤 番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社におけるFORZAの領域は、REDLINEを除いてはMediumコンディションでしっかりと手前のオイルをつかみ、持続的にキャッチを伴うのが特徴で、一見派手さはないものの、コントロール性を重視している銘柄とも言えます。

新しいFORZA SSはFORZAで一貫して使われているHelix CoverstockのHFS(High Friction Solid)Reactiveを採用しています。配色は違えどREVOLT HAVOCと同じCoverstockというのも参考の一つになるとと思います。

少し驚いたのは今までのFORZAはTrox Coreしか採用していませんでしたが、FORZA SSではSigma Coreを採用していること。実際に2013年12月以来のSigma Coreですが、情報によるとEj Tackttの要望が強く反映されているらしく、Sigma Coreの転がりやすくスムーズに力強く動くボールをFORZA SSに求めたのであろうと予測がつかしました。

実際にテストングを行ったときに、今までのFORZAよりも強く、スムーズに動く実感したのはそのまま、それはHelix HFS CoverstockとSigma Coreのコラボレーションによるものだと思いましたが、後からの情報で知りました。

それこそ派手には動かないのですが、常にレーンと接地している感覚のように動きの弧が変わらないというか、曲がり始めてからピンヒットまでの軌道がシンプルでブレないのがEj TackttがこのCoverstockとCoreの組み合わせを選んだ理由なのだと思います。もともとEj TackttはSigma Coreを非常に気に入っている情報は得ていましたが、このような形でFORZAに発展させるとは思いませんでした。個人的にもSigma Coreの発展系のボールを望んでいましたので、この先Sigma Coreでどのような製品が生まれてくるのか非常に楽しみです。

特記事項

FORZA最新シリーズで約1年ぶりのリリース。HELIXカバーストックはオイルに強くさらにソリッドバージョンのため、ミッドレーンでの絶対的な安定感に加えドライゾーンで過激な反応はせずスムーズかつ強い曲がりが見られます。